

7月 主題 「 やってみる 」

『13 イエスに触れていただくために、人々が子供たちを連れて来た。弟子たちはこの人々を叱った。
14 しかし、イエスはこれを見て憤り、弟子たちに言われた。「子供たちをわたしのところに来させなさい。妨げてはならない。神の国はこのような者たちのものである（7月中心聖句）。15 はつきり言うておく。子供のように神の国を受け入れる人でなければ、決してそこに入ることはできない。」
16 そして、子供たちを抱き上げ、手を置いて祝福された。』

新約聖書 マルコによる福音書 10章13～16節

「子ども達の限りない未来のために」

素晴らしい夏の日差しが照り輝く季節、白い雲が、大空にゆったりと浮かび、せせらぎ、まるでゆったりとした音を奏でているように、子ども達は、いつも、ゆったりとした時の流れの中で掛け替えのない瞬間を最後の園舎で過ごしています。

しかし、現代の社会では、いたる所で「早期教育」が叫ばれています。例えば「早く、起きなさい」「早く、着替えて、顔を洗って」「早く、ご飯を食べて」「早く、保育園に行くわよ」など。子ども達は一日に何度、「早く、早く」と言う言葉を聞かされていることでしょう。お友だちよりも早く出来るようになる。早く大人になることが、まるで良いことのように思われています。現代の社会や大人たちは、どうして、せっかちになっているのでしょうか。

保育・教育の考えの一つに、「子どもは、こうあるべきだ」「これが、良い子どもだ」といった、あるべき姿を予（あらかじめ）め定めておき、子どもをそこへ近づけようとする捉え方があります。大人が子どもの理想像を思い描き、その目標を実現しようとする傾向が教育現場には少なくはありません。しかし、本当に、そのような保育・教育の在り方が、子ども達の健やかな成長へと繋がって行くことでしょうか。つまり、そこでは、人間（大人）が設定した教育目標に、子どもをいかに近づけるか、と言うことが中心となっているのです。

ある児童教育の専門家によると、乳幼児期は、創作的表現の黄金時代だ、と言われます。子どもは毎日の生活の中で感動したことを率直に、素直に、自由に表現します。

音楽が聞こえてくるとリズムに乗って自然に手足を動かし踊ったりします。あるいは心の中の思いや訴えを自由に絵に描きます。子どもの描く絵には子どもの語りた話がたくさん含まれています。

「ごっこ遊び」の中で自分の印象にあらゆる人を演じようとし、言葉が話せるようになると心の叫びは、短い言葉で詩のように表現されます。

水たまりで遊んでいる子どもが、「あっ、水たまりに僕の顔が映っている。青い空も映っている」と叫んだり、夜空に散りばめられた星の美しさに「お月様がきつと線香花火をしているんだ」と、大人の私たちには想像できない驚きの言葉を放ちます。

子ども達は、周りのすべての生活体験を自分の中に取り込み、その感動を更に自分の創造の世界に表すのです。それは、乳幼児の感受性の鋭さに他なりません。つまり、想像力の豊かさに、子ども自身の思考力が加わって表現されるのです。これらを乳幼児の創造性と呼ばれています。これからの教育は、創造性を育て伸ばすことを何よりも大切にしていかなければならないのではないのでしょうか。

そのためには、ただ、教えられることに忠実である子どもに期待する教育であってはならないと思います。それよりも、子ども達が自らの目で見、耳で聞いて、考え、自ら発見し、創意工夫し、子ども達自身が主体的に行動して思いを表現できるような体験をさせることが大切なのです。

子どもは大人の未完成品ではありません。たとえ、精神や言葉、身体機能は未発達であっても、心の発達（創造性）はキチンと備えられています。

だからこそ、子ども達は大人の管理下で押し付けられた生活を続け、大人の価値観のもとに一つのレ

ールに乗せられ、自己表現の機会に乏しい教育や保育であってはならない、と私は強く思います。それでは、子ども達の創造性は健やかに育っては行かないのです。

7月の聖書のみ言葉である「子供たちをわたしのところに来させなさい。妨げてはならない。神の国はこのような者たちのものである（7月中心聖句）。はっきり言うておく。子供のように神の国を受け入れる人でなければ、決してそこに入ることはできない。」と言うイエス様のお言葉は、キリスト教保育を掲げている保育園や幼稚園では、最も大切にされている聖句です。

その理由は、いつも、子どもはイエス様から祝福される存在である、ということです。だからイエス様は、一人ひとりの子どもを抱き上げ、手を置いて祝福されたのです。

子育てをする上で最も大切な視点は、一人ひとりの子どもには、「早さの違う時計」が神さまから与えられている、ということです。しかし、どの子どもの時計も、未来に向かって秒針が一秒また一秒と進んでいることは確かです。

私は聖愛保育園に集う子ども達一人ひとりに、いつも心の中で叫び掛けています。「ゆっくり大きくなっていいんだよ」。一人ひとりの子どもが、イエス様に抱かれ、手を置いて祝福されている。イエス様の祝福の御手の中で、一人ひとりの子ども達が、夏の白い雲のようにゆったりと、自分らしさを発揮しながら、創造性豊かな子どもへと成長して欲しい、と願っています。

行事予定 🐾

- 8月 6日 (水) 英会話 (ゆり組、すずらん組)
- 8月 7日 (木) 合同礼拝
- 8月 17日 (日) 臨時特別休園…仮設園舎への引越し 14時～
- 8月 18日 (月) 臨時特別休園…仮設園舎への引越し 9時～
- 8月 19日 (火) 仮設園舎での保育開始
- 8月 21日 (木) 避難訓練
- 8月 27日 (水) 英会話 (すずらん組)
- 8月 28日 (木) 合同礼拝・誕生日会
- 9月 3日 (水) 英会話 (ゆり組、すずらん組)
- 9月 4日 (木) 合同礼拝
- 9月 17日 (水) 英会話 (すずらん組)
- 9月 18日 (木) 避難訓練
- 9月 25日 (木) 合同礼拝・避難訓練



※ 保育園行事に参加される保護者の皆さまは、早めにご予定を入れて下さいますようお願い致します。

🐾お知らせ

- ☆ 新しいお友だちを紹介します。宜しくお願い致します。
 - ・ ひまわり1歳組 宮川 桜大 (みやがわ おうた) くん、菊川 翔伍 (きくがわ しょうご) くん
伊藤 詩音 (いとう しおん) ちゃん
- ☆ 8月中に実習生が本園で保育実習を致します。宜しくお願い致します。
 - 河野 きみか さん (福岡子ども専門学校1年) (8月4日/月～8月6日/水)
 - 潮月 かなこ さん (別府短期大学保育科2年) (8月20日/水～8月30日/土)
- ☆ 湯布院町内各教育機関において、人権教育総合事業「ステップ勇気づけ」の取り組みがなされています。今年度が最後の一年となりました。「ステップ勇気づけ」の啓蒙活動として、本園でも保護者の方々に、書物の貸出しを行っています。玄関に書物を置いてありますので、貸出しを希望される方は、各クラス担任までお知らせ下さい。